

# 令和5年度組織目標

部局名	土木交通部
R5年度に特に注力する事項(目標)	○「シン・土木交通部」の挑戦 目標：「今年らしさ・滋賀らしさ」を意識した事業推進
	○安全・安心を支える地域づくり ハード・ソフト一体となった流域治水の推進 目標：河川整備の完了区間延長 2.0km 浸水警戒区域の指定 2地区(累計20地区) 避難計画の作成 6地区(累計24地区)
	○生活や産業を支える地域づくり 滋賀地域交通ビジョンの策定 目標：「滋賀県が目指す地域交通の姿」と、その実現に向けた負担分担のあり方について公論熟議を重ね、「滋賀地域交通ビジョン」を新たに策定
	○魅力のある暮らしを支える地域づくり 魅力ある公園づくりの推進 目標：公園ごとに異なる実情について、関係部局相互の理解を深め、しがの公園として親しみのある魅力向上施策について検討、具体化
	○CO2ネットゼロを推進する地域づくり グリーンインフラの推進 目標：9月末までに滋賀が取り組むグリーンインフラの方向性を整理 子どもの学びにもつながる取組方針案を年度内に新たに策定

所属名	監理課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○全部局職員の建設工事等に係る入札契約事務能力の向上とミス防止対策の徹底 目標：説明会や研修会の実施(年2回程度)と不適切事例の共有
	○廃川・廃道敷地の処分・整理 ・歳入確保に資するため、廃川・廃道敷地について、地元市町や関係機関と調整し課題を整理するとともに、国からの譲与手続、境界確認、売却範囲の特定・分筆などの条件整備を集中的に進めて売却処分を行う。 目標：年度末までに 3箇所
	○【見直し・効率化】建設業許可証明書発行に係る電子申請手続の導入(令和6年度開始)および業務の効率化 目標：電子申請案件の処理に係る効率的な業務フローを構築し、令和6年度から電子申請手続を開始

所属名	技術管理課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○【新】グリーンインフラの推進 目標： 9月末までに滋賀が取り組むグリーンインフラの方向性を整理 子どもの学びにもつながる取組方針案を年度内に新たに策定
	○【深】見てもらえる情報発信 目標： 建設業の魅力を動画で配信（視聴回数累計100万回）
	○【真】DXによる工事発注事務の効率化 目標： ①工事数量の積算システムへの取込機能新設により事務省力化 ②AIを活用した工事発注書類間の整合性チェックを導入 9月末までに連携システム、チェックシステムを構築 10月から試行運用開始
	○【進】【見直し・効率化】DXによる協議資料作成の効率化 目標： 協議参加者の意見をリアルタイムに協議資料へ反映し、協議終了時に資料が完成できる「共同編集環境」の整備 5月末までに試行環境を構築、運用テスト 6月から協議時に試行開始

所属名	交通戦略課、県東部地域公共交通支援室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○滋賀地域交通ビジョンの策定 目標： 「滋賀県が目指す地域交通の姿」と、その実現に向けた負担分担のあり方について公論熟議を重ね、「滋賀地域交通ビジョン」を策定
	○公共交通ネットワークの構築、利用促進 目標： <u>JR</u> ： ・鉄道等の利用促進に向けた駅と工業団地間のシャトルバス 運行実証 1エリア ・鉄道利用促進PTにおける更なる利用促進策の検討 <u>近江鉄道</u> ： ・「近江鉄道線鉄道事業再構築実施計画」の国土交通省への提出 <u>交通環境学習の実践と普及</u> ： ・小学校等で交通環境学習を実施（50回）
	○【見直し・効率化】内部統制事務：課内のチェック機能を高め、再発防止に重点を置いた見直し 目標： R6.2までに、見直し結果をR6内部統制事務の運用に反映

所属名	道路整備課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○県土の発展を支える道路整備の推進 目標： 道路整備アクションプログラム2023に位置付けた事業について、必要用地の確保に関する進捗管理や、設計の質的な向上などにより事業推進する 供用延長：4 k m
	○道路整備効果の見える化 目標： 前アクションプログラム期間に完了した道路事業について、直接効果（短縮時間や渋滞緩和等）やストック効果（産業発展や観光振興等）など、多様な効果を取りまとめ、見える化を図る
	○名神名阪連絡道路の推進 目標： 有識者委員会や住民等意見徴収（P I）により、地域の意見を踏まえながら、概略ルートの具体的な検討を進める 延長：約30 k m（全線）
	○【見直し・効率化】A I解析による交通量調査の導入検討 目標： 次期道路交通センサス（交通量調査）に向けて、A I解析による無人観測の導入検討を行う

所属名	道路保全課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○安心・安全な地域の暮らしを支える歩道の計画的整備の推進 目標： 道路整備アクションプログラム2023 に位置付けた歩道整備箇所等の適切な進捗管理による事業推進 歩道開通延長：4.0km うち通学路：1.5km
	○地域を豊かにする自転車活用の推進 目標： 湖岸道路等で自転車通行帯を整備し、自転車と車の双方が安全・安心に通行できる道路環境整備の推進 自転車通行帯の整備延長：4 km ※計画延長（R8年度完了延長）32 km R6以降延長：18 km
	○橋梁長寿命化の計画的な推進 目標： 橋梁定期点検の診断結果に基づき、早期に対策が必要な橋梁（Ⅲ判定橋梁）について、適切な時期に対策を実施 措置完了橋梁数：20橋 ※対策率 点検1巡目 92.6% 点検2巡目 61.2%
	○【見直し・効率化】水防・雪寒業務の待機体制改善 目標： 注意報発令時のテレワークを活用した待機体制の見直し

所属名	砂防課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○いのちと暮らしを守る土砂災害対策施設整備の推進 目標： 土砂災害防止施設 整備完了8箇所(うち北部3市 5箇所)
	○いのちを守る土砂災害防止に係るソフト対策の推進(出前講座) 目標： 砂防出前講座の実施 16回以上(うち子ども対象4回)
	○【見直し・効率化】啓発活動：県民への土砂災害防止に係る啓発活動の効率化を図る 目標： 6月の土砂災害防止月間時の啓発活動において実施

所属名	都市計画課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○「都市計画基本方針」に沿った都市計画決定等への取組 目標： 彦根長浜都市計画区域の令和6年度の区域区分見直しに向けて、国等関係機関との協議を行い原案を作成する
	○魅力ある公園づくりの推進 目標： 公園ごとに異なる実情について、関係部局相互の理解を深め、しがの公園として親しみのある魅力向上施策について検討、具体化を行う
	○都市の骨格を形成する街路事業の推進 目標： 国スポ・障スポ主会場へのアクセス道路となる原松原線 彦根お城トンネル工事の概成を目指す
	○【見直し・効率化】屋外広告業登録のオンライン化 目標： 次年度からの登録のオンライン化に向けた申請者向けマニュアル(案)を作成する

所属名	住宅課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○地域の実情に応じた空き家対策の推進 空き家バンクの物件の登録・流通促進にかかる市町に対する補助事業の実施や、民間との空き家の除却促進に関する連携協定の活用により空き家対策を進める 目標： ・空き家バンクによる売買成約件数 130件 ・特定空家等の改善件数 25件
	○県営住宅家賃収納の推進 令和5年度家賃収納率の改善 目標： ・現年度分 98% ・合計(過年度分含む) 92%
	○盛土の安全対策の推進 目標： 令和5年度中に盛土規制法に基づく基礎調査を完了し、調査結果を公表する
	○【見直し・効率化】許認可事務における来庁対応の効率化 目標： 年度中にZOOMを活用したオンライン対応の開始

所属名	建築課
R5年度に特に注力する事項(目標)	○【見直し・効率化】昨年度に導入したBIMシステムの活用による設計業務の効率化 目標： BIM活用モデル設計委託事業の発注件数 1件 BIMシステムの利用経験職員の割合 営繕3係職員の50%
	○営繕工事におけるCO2排出量削減に資する仕様の付加、高効率部材や機器等の採用 目標： 外壁・屋上防水・設備改修 25件 新築 1件
	○昨年度に整備した受付システムによる、建築基準法関連手続のオンライン届の実施 目標： 届出試行の実施件数(課題等の確認) 3件 実際の届出申請(オンライン手続の周知) 6件

所属名	流域政策局
R5年度に特に注力する事項(目標)	○ハード・ソフト一体となった流域治水の推進 河川整備の完了区間延長 2.0 km 目標： 浸水警戒区域の指定 2地区(累計20地区) 避難計画の作成 6地区(累計24地区)
	○河川整備計画の変更 目標： 年度内に3圏域で変更認可、2圏域で変更計画素案を作成
	○丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備と地域振興の推進 目標： 県道中河内木之本線の道路拡幅整備完了延長 2.1 km 県道中河内木之本線の災害復旧工事完了箇所 27箇所 地域振興プランに係る支援制度の構築

局内室名	流域政策局 広域河川政策室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○河川整備計画の変更 目標： 年度内に3圏域で変更認可、2圏域で変更計画素案を作成
	○気候変動を踏まえた治水計画の検討と方針決定 目標： 気候変動を踏まえた治水計画の検討と方針決定：6河川
	○【見直し・効率化】開発に伴う雨水排水協議の効率化 目標： 開発に伴う雨水排水協議に関するFAQの作成

局内室名	流域政策局 流域治水政策室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○水害に強い地域づくりの実現 目標： 浸水警戒区域の指定 2地区(累計20地区) 避難計画の作成 6地区(累計24地区)
	○水害リスク情報の空白域の解消(中小河川の洪水浸水想定区域図の作成) 目標： 氾濫解析モデル図の完成 2圏域(県内7圏域のうち)
	○【見直し・効率化】問合せ対応力の向上と効率化 目標： 地先の安全度マップ等に関する問合せ対応のためのFAQの作成

局内室名	流域政策局 河川・港湾室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○河川整備の推進 目標： 完了区間延長2.0km（第2期河川整備5か年計画の最終年度）
	○河道の適正な維持管理の推進 目標： 竹木伐開・堆積土砂撤去に取り組む箇所数250箇所
	○【見直し・効率化】データ共有による進行管理の効率化 目標： 本庁・土木事務所間における改修・維持管理実績データの共有

局内室名	流域政策局 水源地域対策室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備と地域振興の推進 目標： 県道中河内木之本線の道路拡幅整備完了延長 2.1km 県道中河内木之本線の災害復旧工事完了箇所 27箇所 地域振興プランに係る支援制度の構築
	○ダム下流の水害リスク情報の提供 目標： 滋賀県防災情報マップにダム下流洪水浸水想定図掲載 4ダム
	○【見直し効率化】水防待機時における各ダムからのFAX送信の改善 目標： SISPADによりデータ転送できるよう段階的に運用

所属名	丹生水源地域整備推進室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備と地域振興の推進 目標： 県道中河内木之本線の道路拡幅整備完了延長 2.1km 県道中河内木之本線の災害復旧工事完了箇所 27箇所 地域振興プランに係る支援制度の構築